

鼻すすり型耳管開放症を伴う真珠腫性中耳炎の術後経過に関する研究

1. 研究の対象

2010年1月～2020年12月に真珠腫性中耳炎で当院で初回手術を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

鼻すすり型耳管開放症を伴う真珠腫性中耳炎は再発率が高いことが知られています。術後経過を調べることにより再発や再手術時の術式を明らかにし、鼻すすり型耳管開放症を伴う真珠腫性中耳炎における再発の少ない手術方法を検討する研究です。

対象患者を鼻すすり型耳管開放症を伴う患者（鼻すすり群）と耳管開放症と診断されなかった患者（非鼻すすり群）の2群に分け、初回手術の術式、術後再発（鼓膜陥凹を含む）、聴力経過、再手術時の術式などについて比較検討します。

研究期間は倫理委員会承認日から2025年10月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、真珠腫の病期、聴力、術後鼓膜所見（再発の有無）、再手術時の術式など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部耳鼻咽喉科

電話：088-880-2393

担当者の所属・氏名：耳鼻咽喉科・小林泰輔

研究責任者：上記研究責任者